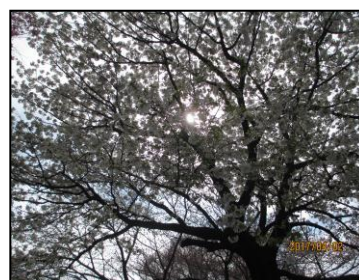


人の身体はその人の歴史

何年か前になりますが、先輩職員と業務に入っていた時にこんな話を聞きました。その先輩職員が夜勤をしていた時に、明治生まれの女性をご入居されていたそうです。そしてその方のお部屋を巡回した時に、布団から足がとびだしているのを見つけました。その方は寝相が悪くいつも布団を跳ね除けていたらしいのですが、その時先輩は「100年も人の身体を支えた足はどんな形をしているんだろう」と不意に興味を持ったそうです。そして布団をかけ直す際に改めてその足の裏をじっと見たそうです。「扁平足だったよ」と先輩は笑っていましたが、その後先輩から言われた、「人の身体はその人の歴史だからね」という言葉は今も覚えていています。

髪の毛の色や手足のしわ、歯や骨の変形や手術痕など、身体に刻まれた変化を私たちは悪いものと考えがちです。しかし必ずしもそうではなく、長い年月をこの身体で過ごした証として、誇るべき人生の厚みとして、ご入居者の皆様には自信を持って頂きたいと思います。そのことをお化粧中のある女性のご入居者にお話しした所、「あんたはまだ若いからそう言われてられんのだよ」と言われてしまいました。賛成を得るのは難しいようです。



<特養5月の予定>

1日～6日	季節の行事湯（菖蒲の湯）
1日（月）	赤飯・天ぷらメニュー 苦情相談窓口
2日（火）	桜井医師往診（以後は毎週火曜日）
5日（金）	子供の日メニュー
8日（月）	健康診断
9日（火）	お手玉ボランティア
10日（水）	歯科往診（以後は毎週水曜日） レクリエーション
11日（木）	岐阜県の郷土料理メニュー「けいちゃん」 2階眼科往診
12日（金）	選べるおやつ(マンゴープリン・マドレーヌ)
14日（日）	洋食バイキング 家族介護教室「今日からできる介護予防」
18日（木）	3階眼科往診
21日（日）	書道クラブ
28日（日）	フットボール観戦
29日（月）	床屋

<<連絡事項>>

- 今月は連絡事項はございません。